



Japanese Chamber of Commerce, Bangkok

盤谷日本人商工会議所

在タイ日系企業 オートメーション化、ロボティクス の背景と動向

2021年11月

盤谷日本人商工会議所

専務理事 石井 信行



目次

- 1. 盤谷日本人商工会議所 (JCC) 概要**
- 2. タイでの環境変化**
- 3. 日系企業の取り組み**
- 4. 今後のタイでの可能性**



目次

- 1. 盤谷日本人商工会議所 (JCC) 概要**
2. タイでの環境変化
3. 日系企業の取り組み
4. 今後のタイでの可能性



1-1 JCCの活動概要

- 設立は、1954年(30社でスタート)
- 在タイ日系企業をメンバーとする日本人商工会議所
- 会員数1,658社(2021年11月1日現在)
- 会員企業へのビジネスサポート、政府への要望、社会貢献活動などを実施



アークム財務相との関税・税制に関する協議(2021.1)

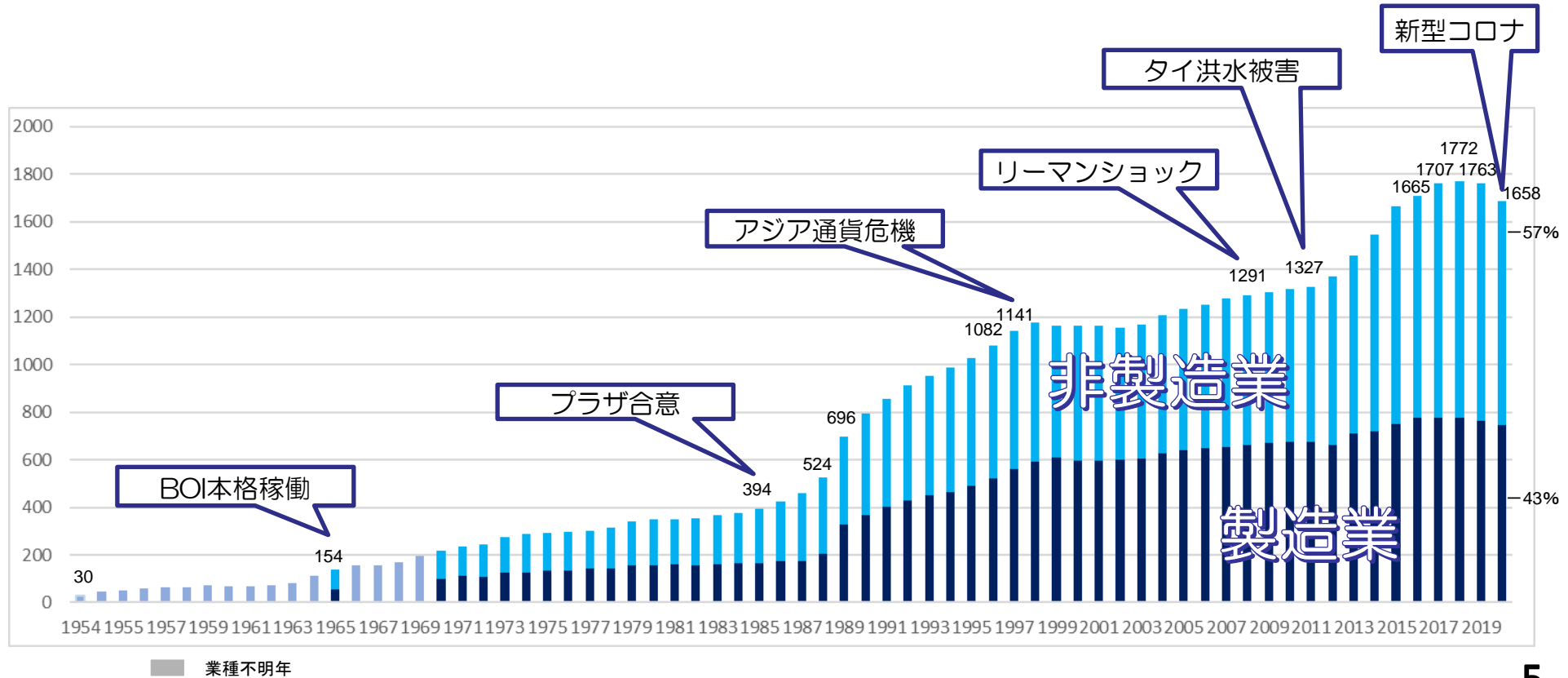


会員企業交流会の実施(コロナ前)



1-2 JCC会員企業数の推移

新型コロナの影響や、事業再編に伴い減少傾向

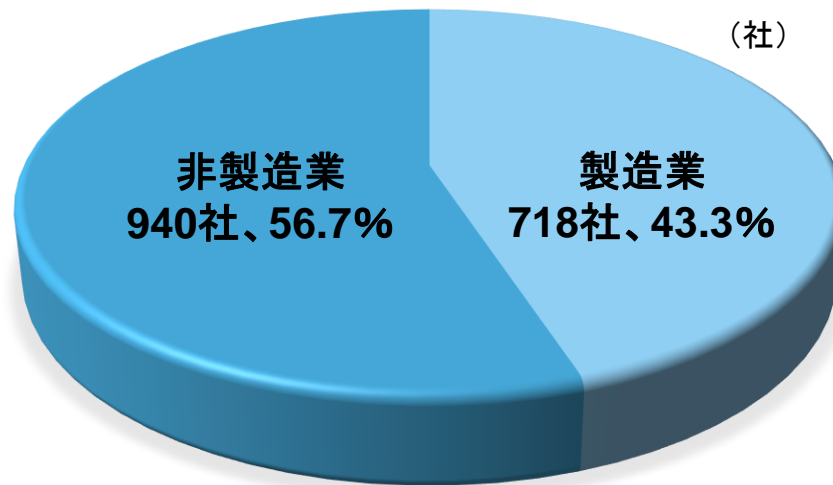




1-3 JCC業種別会員数・雇用者数

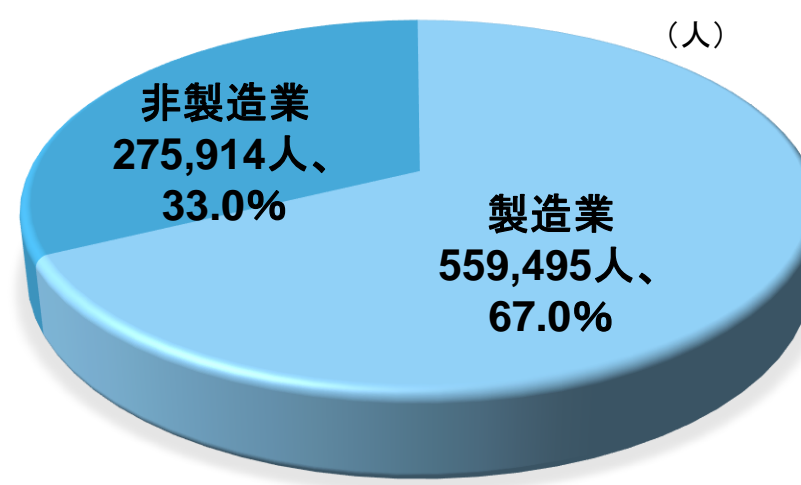
2012年以降、会員進出日系企業では非製造業の割合が製造業よりも多くなっている

<業種別会員数>



合計会員数 1,658社

<業種別会員雇用者数>



合計会員雇用者数 835,409人

(会員企業数ならびに雇用者数は2021年11月1日時点の数字)



目次

1. 盤谷日本人商工会議所(JCC)概要
- 2. タイでの環境変化**
3. 日系企業の取り組み
4. 今後のタイでの可能性



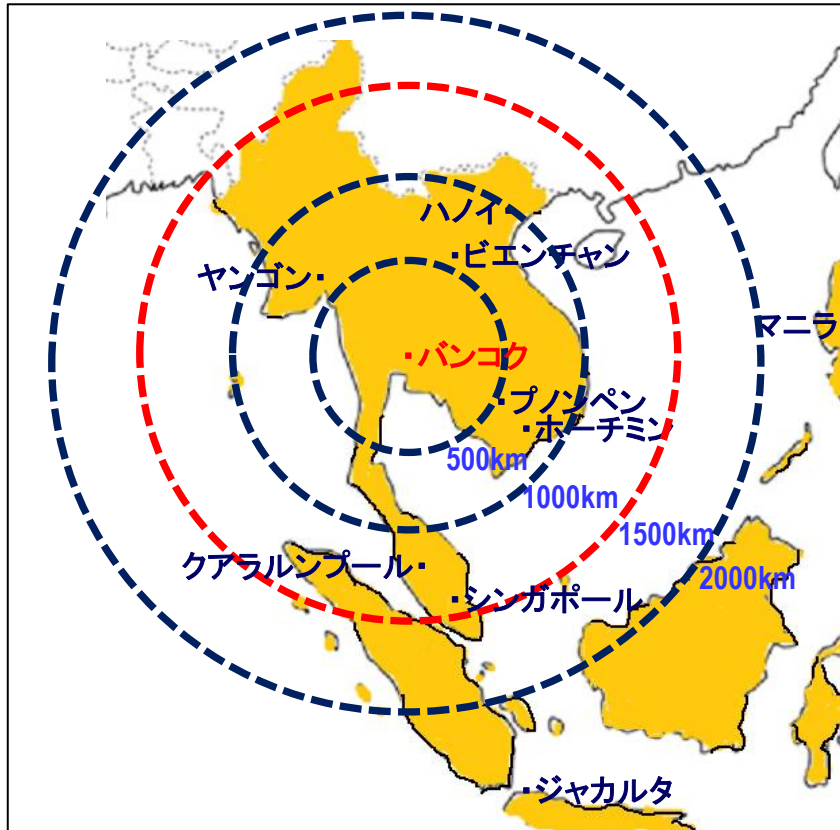
2-1 日本とタイの比較

	タイ	日本
国土面積(万km ²)	51.3(2020年)	37.8(2020年)
うち農地面積(万km ²)	23.9	4.4
人口(万人)	6,659(2020年)	12,618(2019年)
人口密度(人/km ²)	136.0	334.6
首都人口(万人)	570	1,406
1人あたり名目GDP(ドル)	7,816(2019年)	40,247(2019年)
就業人口割合(%)	(2018年)	(2017年)
第1次産業	32.8	5.1
第2次産業	23.2	25.9
第3次産業	44.0	69.0



2-2 ASEANにおけるタイ

ASEAN各都市へはフィリピン・インドネシアを除き1,500km圏内



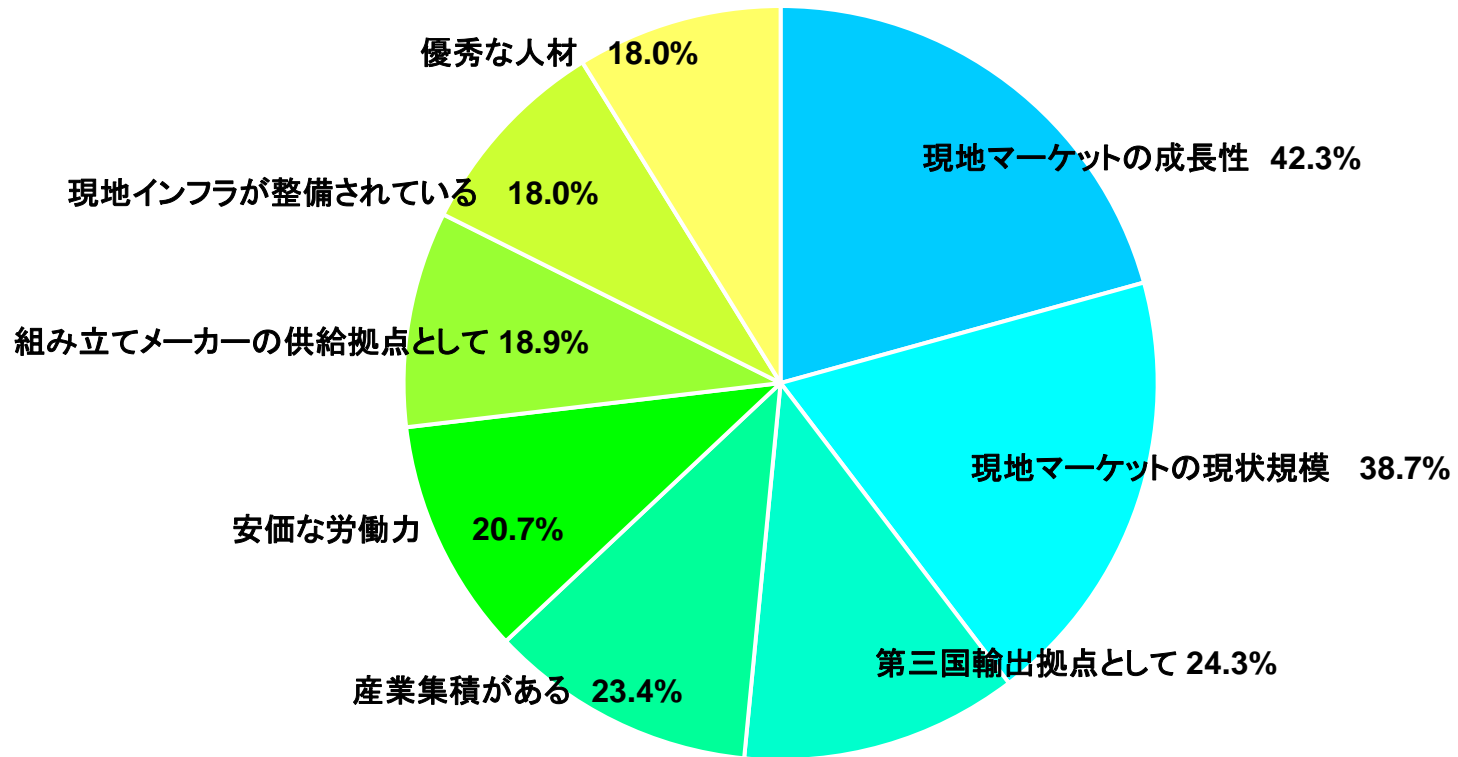
✈️ バンコクからASEAN各都市への
航空機による必要時間 (目安)

バンコク ➡ ビエンチャン	1時間 5分
➡ プノンペン	1時間 5分
➡ ヤンゴン	1時間15分
➡ ホーチミン	1時間30分
➡ ハノイ	1時間40分
➡ クアラルンプール	2時間10分
➡ シンガポール	2時間15分



2-3 タイ投資の有望理由

＜タイが投資先として有望だと思う理由＞



(出所)JBIC2020年度海外直接投資アンケート結果「有望酷調査(有望理由の詳細)」より、JCC作成



2-4 各国の人口増加率の推移

2025年頃には人口減少に転じる見込み

国名	2000-2005	2005-2010	2010-2015	2015-2020	2020-2025	2025-2030	2030-2035	2035-2040	2040-2045	2045-2050
日本	0.13	0.03	-0.09	-0.23	-0.35	-0.44	-0.51	-0.56	-0.58	-0.57
中国	0.59	0.57	0.54	0.39	0.20	0.03	-0.11	-0.23	-0.33	-0.43
タイ	0.77	0.54	0.43	0.22	0.08	-0.02	-0.12	-0.25	-0.38	-0.51
インドネシア	1.39	1.35	1.25	1.06	0.90	0.75	0.61	0.48	0.36	0.24
マレーシア	2.03	1.83	1.78	1.35	1.23	1.04	0.83	0.66	0.54	0.47
ミャンマー	1.01	0.68	0.88	0.90	0.79	0.66	0.51	0.35	0.20	0.08
フィリピン	2.02	1.66	1.64	1.51	1.40	1.27	1.13	1.00	0.87	0.76
シンガポール	2.75	2.44	1.74	1.40	0.74	0.59	0.43	0.26	0.09	-0.05
ベトナム	0.98	0.96	1.12	1.00	0.88	0.67	0.50	0.41	0.34	0.26

国連人口統計より作成。2015年以降は同統計中位予測を使用。



2-5 タイ人従業員の給与水準（1）

<製造業役職別実在者賃金>

製造業 技術系	年齢層	2021年度		2020年度		2019年度		2014年度		2011年度	
		月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給
部長	48歳前後	103,807	90,050	105,600	89,250	100,000	84,500	88,000	75,000	80,000	70,000
課長	45歳前後	65,000	56,000	66,000	55,000	65,000	55,000	52,513	42,000	41,690	36,000
係長	40歳前後	40,011	34,000	42,850	36,500	40,000	33,850	36,698	30,286	30,000	25,000
スーパーバイザー	40歳前後	34,000	30,000	33,840	29,957	33,000	29,500	28,950	25,000	25,000	21,650
フォアマン	35歳前後	25,044	22,000	26,150	21,980	25,000	20,200	21,144	18,000	17,900	15,000
設備保全技能員	35歳前後	21,740	18,000	20,000	17,100	20,000	17,000	17,575	14,900	14,500	12,500
製造技能員（ワーカー）	35歳前後	16,462	13,600	16,000	13,600	15,900	12,853	14,355	11,880	11,445	9,167
シニアスタッフ	35歳前後	26,300	22,788	23,000	20,902	24,350	20,700	27,000	24,000	24,245	20,000
スタッフ	30歳前後	20,000	16,100	17,700	15,000	17,450	15,000	20,000	17,123	17,980	15,197

単位:パーツ 1パーツ=約3.5円

出典 盤谷日本人商工会議所賃金労務実態報告書2021年4月

12



2-6 タイ人従業員の給与水準（2）

<非製造業役職別実在者賃金>

非製造業 事務系	年齢層	2021年度		2020年度		2019年度		2014年度		2011年度	
		月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給	月給	基本給
部長	48歳前後	97,950	80,000	100,000	90,000	105,300	97,000	89,900	83,000	83,000	78,000
課長	45歳前後	70,000	61,200	67,800	57,000	65,500	60,000	55,100	47,250	50,000	45,000
係長	40歳前後	48,000	43,250	48,400	43,000	49,400	45,000	40,000	35,000	35,210	30,000
スーパーバイザー	40歳前後	38,050	35,000	38,000	33,000	40,000	36,500				
シニアスタッフ	35歳前後	32,000	29,000	32,000	29,508	30,000	29,000	30,000	26,000	26,400	15,800
スタッフ	30歳前後	25,000	23,500	25,000	21,700	23,900	21,900	20,350	18,000	17,650	15,800

単位:パーツ 1パーツ=約3.5円

出典 盤谷日本人商工会議所賃金労務実態報告書2021年4月

13



2-7 各国の給与水準、賃上げ率比較

	タイ	ベトナム	インドネシア
製造業(作業員) 基本給月額	447ドル	250ドル	360ドル
2020→2021 昇給率(製造業)	2.9%	5.0%	5.5%
	タイ	ベトナム	インドネシア
非製造業(スタッフ) 基本給月額	883ドル	611ドル	494ドル
2020→2021 昇給率(非製造業)	3.3%	6.4%	5.2%

ジェトロ 2020年度 海外進出日系企業実態調査(アジア・オセアニア編)



2-8 在タイ日系企業の経営上の問題点

前回順位	今回順位	経営上の問題点	製造業	非製造業	全体
1	1	他社との競争激化	211(68)	174(68)	385(68)
7	2	原材料費価格の上昇	201(64)	69(27)	270(47)
8	3	新型肺炎対策	147(47)	103(40)	250(44)
2	4	総人件費の上昇	146(47)	93(36)	239(42)
3	5	国内需要の低迷	83(27)	93(36)	176(31)
4	6	製品・消費者ニーズの変化への対応	92(29)	83(32)	175(31)
6	7	エンジニアの人材不足	106(34)	42(16)	148(26)
10	8	デジタル化による業務効率化	72(23)	65(25)	137(24)
5	9	品質管理	94(30)	40(16)	134(24)
9	10	為替変動への対応	70(22)	24(9)	94(17)

単位:社数 ()は回答企業割合(%)

(JCC 2021年上期 日系企業景気動向調査;回答率35.8%)



目次

1. 盤谷日本人商工会議所(JCC)概要
2. タイでの環境変化
- 3. 日系企業の取り組み**
4. 今後のタイでの可能性



3-1 日系企業の今後の取り組み

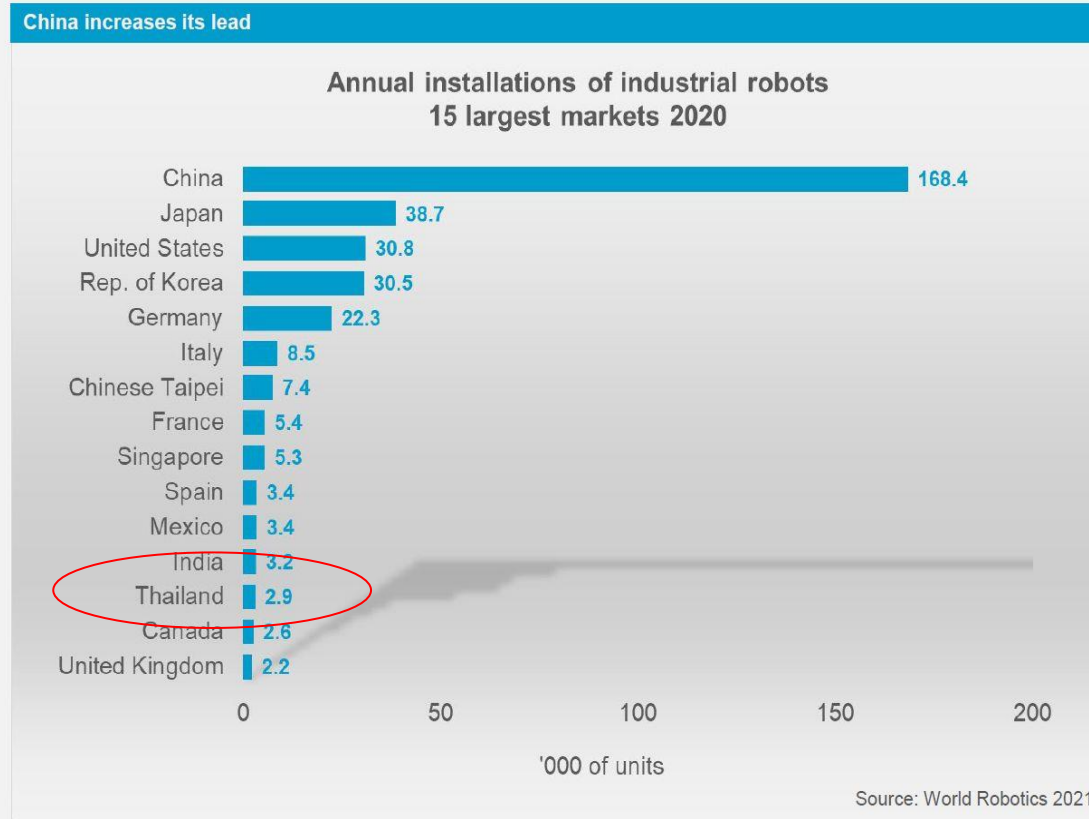
順位	今後必要となる対策	製造業	非製造業	全体
1	コスト削減(労務費以外)	261(82)	148(51)	409(67)
2	販路開拓	155(48)	186(64)	341(56)
3	労務費の削減	197(62)	95(33)	292(48)
4	需要の低迷による生産調整	184(58)	14(5)	198(33)
5	商品価格見直しなど販売戦略の変更	89(28)	87(30)	176(29)
6	資金調達	66(21)	57(20)	123(20)
7	(国内・海外を含めた)調達先の変更	70(22)	35(12)	105(17)
8	他国からの生産移管、自動化等、設備投資の強化	54(17)	17(6)	71(12)
9	タイ政府・日本政府の支援策の利用	42(13)	25(9)	67(11)
10	タイから他国への移転	5(2)	5(2)	10(2)

単位:社数 ()は回答企業割合(%)

(JCC 2020年上期 日系企業景気動向調査;回答率36.4%)



3-2 タイでの産業機械の導入状況



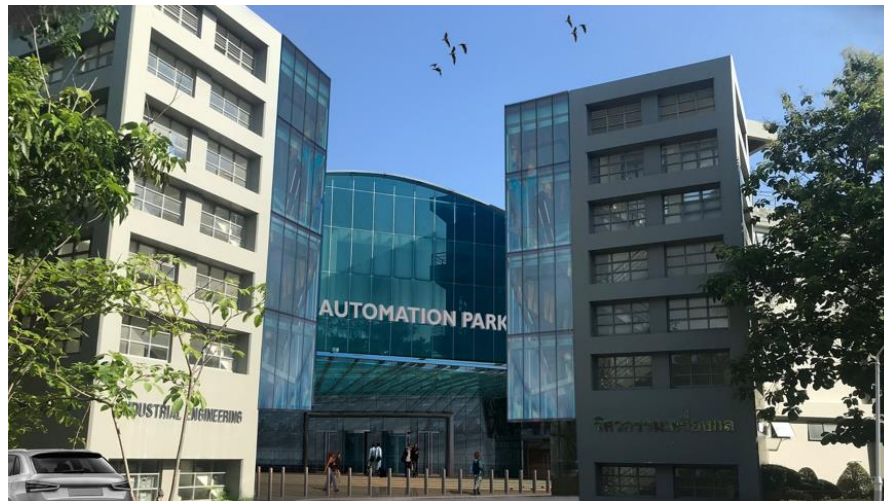
(IFR World Robotics 2021 reports)



3-3 タイのオートメーション化取り組み

“オートメーションパーク”

EECでの人材育成、オートメーションシステムやロボティクスの推進を目的に設立。政府機関や教育機関のほか、いくつかの日系企業もパートナーとして参画





3-4 在タイ日系企業の取り組み例



Industrial Transformation program to support Thailand 4.0 policy

e-F@ctory : Components and Softwares
Introduction of Core Products & Technologies



COPYRIGHT © 2021 MITSUBISHI ELECTRIC FACTORY AUTOMATION (THAILAND) CO., LTD. . ALL RIGHTS RESERVED.

<三菱電機様>



IT System/Software

- Mitsubishi Electric SCADA Software **MC Works64**

Edge Computing/Products

- Industrial PC: **MELIPC**
- C Controller: **MELSEC iQ-R**
- MES interface products: **MELSEC iQ-R**, **GOT2000**

Shop Floor/Solutions

- Compact and Modular Controllers
- FA sensors
- Inverters, Servos and Motors
- Visualisation: HMIs
- Numerical Control (NC)
- Robots: SCARA, Articulated arm
- Low voltage: MCCB, MCB, ACB
- Power monitoring, energy management
- Power/environment peripheral devices
- Processing machines: EDM, Lasers, IDS

Partners and Technologies: CC-Link IETSN, iQ Edgecross, iQ Platform, iQ Monozukuri, iQSS, Remote 4U, MELSOFT iQ Works



目次

1. 盤谷日本人商工会議所(JCC)概要
2. タイでの環境変化
3. 日系企業の取り組み
4. 今後のタイでの可能性



4-1 タイのビジネス環境の優位性

ASEAN,GMSの中心タイ

- ・ASEANの製造ハブとして高いポテンシャル
- ・GMS域内でのマーケットの拡大も期待される

タイ国内

- ・タイ国民の所得上昇により国内マーケットの拡大も期待される



4-2 タイでのビジネス上の課題

タイの現状

- ・人件費の上昇圧力
- ・過当競争の存在
- ・人口減少と慢性的な人材不足

➡ **いかに付加価値をつけるか？**



4-3 今後のビジネス戦略とは？

タイでのビジネスの今後

- ・製造拠点としての機能だけでなく、地域統括拠点、高付加価値産業の拠点としてさらなる発展が期待
- ・そのため、高付加価値産業を支えるための人材育成が課題
- ・経費の削減も大きな課題。上昇する人件費と低下傾向にあるロボット等の設備関連経費の比較考量



Japanese Chamber of Commerce, Bangkok

盤谷日本人商工会議所

本日はありがとうございました。

タイでお待ちしています！